

キタキツネに遭遇

都会で生活する私にとって野生のキツネを見ることは無い。しかしここ北海道の洞爺湖を見下ろす山頂に建てられた高級リゾートホテルを見学し庭を散策していた時の事。偶然にも一匹のキツネに出会ってしまった。私にとって驚きと共に感動の一瞬であった。すぐにこれがキタキツネだと思った。映画やテレビで北海道に生息するキタキツネを何度も見たことがある。



始めはこのホテルで飼育されているキツネだと思った。人間である私を見ても全く驚くことなく、野生であれば飛んで逃げていくに違いないが悠然としているのだ。そしてカメラで何枚かの写真を撮る私に近寄り悠々と私の前を横切って行った。そしてそのまま森の中に姿を消してしまった。勿論柵や垣根などはない。本物の野生のキタキツネなのだ。

キタキツネは北海道の平地から山岳地帯まで幅広く生息している。そして身近な公園や道路、住宅街などの人間の生活圏内でも見ることもあるようだ。キタキツネの繁殖期は12月から2月にかけて。春先になると3~6匹の子供を産む。秋にかけてメスが子育てをするがオスは単独行動で子育ては一切しない。主に小動物を主食とし秋には果実や木の実も食べる。観光地では観光客に餌をねだったりゴミ捨て場をあさったりもする。顔つきもしぐさも可愛らしく人間に対して攻撃することは無いようだ。

私の生活で普段キツネとのかかわりは食堂で注文するキツネうどんとお稲荷さんだ。共にあげが材料だがキツネもあげが好きなのだろうか。誰かに聞いてみよう。

撮影 2015 年春

